第１０節　関連団体

１　公益社団法人大牟田市シルバー人材センター

（1）シルバー人材センターの概要

<設　　立>

法 人 格　　公益社団法人
設立許可　　昭和６１年2月２５日設立
　　昭和６１年４月　１日許可

<目　　的>

働く意欲と能力をもった定年退職者その他の高年齢退職者（６０歳以上）に、臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業の機会を確保し、組織的に提供することによって、高年齢者の職業生活の充実と福祉の増進に資するとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とする。

<事業内容>

①臨時的かつ短期的な就業（雇用によるものを除く）又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものを除く）を希望する高年齢退職者のための就業機会の確保と組織的な提供
②臨時的かつ短期的な雇用による就業又はその他の軽易な業務に係る就業（雇用によるものに限る）を希望する高年齢退職者のための職業紹介事業及び一般労働者派遣事業
③高年齢退職者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施
④その他高年齢退職者のための臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に関し必要な業務

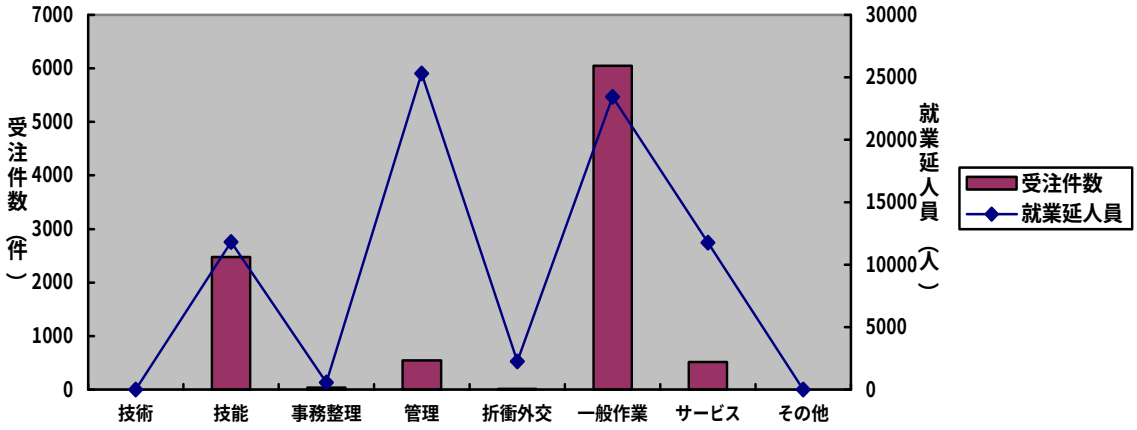
<機　　構>　　（平成２６年４月１日現在）

理 事 長 ―― 役　　員（理事１０　監事　2）
└―― 事務局長 ― 総務課長 ―― 総務担当（２名）
　　└―― 業務主任 ―― 業務担当（３名）

（2）平成２５年度事業実績及び会員数

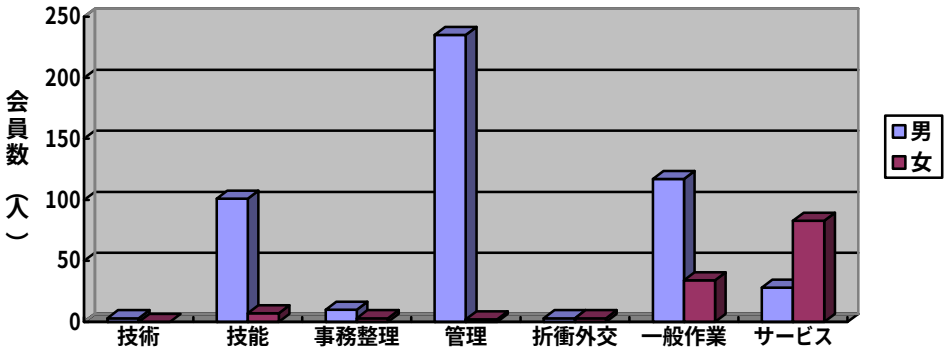
①事業実績（職種別）

区　　分	受注件数	就業延人数	事　業　収　入	構 成 比
技　　術	21	48	110,160	0.1%
技　　能	2,649	12,266	66,255,489	24.0%
事務整理	39	213	535,156	0.2%
管　　理	1,135	25,492	90,793,485	32.9%
折衝外交	61	6,734	7,791,633	2.8%
一般作業	6,312	23,891	76,471,840	27.7%
サービス	641	11,840	33,898,113	12.3%
そ の 他	0	0	0	0.0%
合　　計	10,858	80,484	275,855,876	100%



②会員数（希望職種別）

希望職種	男	女	計	構成比
技　　術	8	1	9	1.5%
技　　能	93	7	100	16.6%
事務整理	11	7	18	3.0%
管　　理	238	2	240	39.8%
折衝外交	2	3	5	0.8%
一般作業	99	35	134	22.2%
サービス	20	77	97	16.1%
計	471	132	603	100.0%



1）事業実績

一般家庭、事業所、公共団体等から仕事を受注し、事業を実施した。地域経済の低迷や厳しい雇用情勢の中ではあるが､経営の健全化に向けた様々な取組を実施した結果､事業収入は約２億７千６百万円と、前年度と比べ７．５％増加した。

2）普及啓発事業

(1) センター事業の普及啓発活動

①会員の拡大及び就業の拡大を図るため、月２回の入会説明会と月１回の登録説明会、市民向けの新チラシ作成、無料情報誌「どがしこでん」でのＰＲ等を行った。また、新規の「３Ｒ活動推進事業」では、市民親子体験教室や社用車のステッカー、チラシ等による普及啓発活動に取り組くんだ。

②行政の介護保険窓口、地区公民館、市民活動等多目的施設「えるる」等に、センターチラシを置き、センター事業の普及啓発活動に取り組んだ。

③十日市をはじめ、新幹線朝市、よかもん商店街、福岡でのシルバーフェスティバル等に参加し、リサイクル事業の品物や生きいきシルバー農園の農作物の販売を行い、センター事業の普及啓発に取り組んだ。

④地元新聞社へセンター活動の情報提供を行うとともに、１０月のシルバー人材センター全国普及促進啓発月間に市行政及び市議会へセンター事業への支援要請を実施した。

(2) 社会参加・ボランティア活動

①「大蛇山まつり」市民総踊りへの参加と会場の清掃奉仕活動

７月２７日（土）市民総踊りへの参加　　（参加者２８人）

７月２９日（月）夏祭り会場清掃奉仕　　（参加者６４人）

②９月２８日（土）高齢者生きがい創造センター周辺の樹木剪定、除草作業

剪定班３８人・除草班２０人・清美班１１人・事務局８人　（参加者７７人）

③１０月５日（土）市役所の樹木剪定、清掃奉仕活動

剪定班３６人・清美班９人・事務局８人　（参加者５３人）

3）安全・適正就業推進事業

「安全はすべてに優先する」を基本として、安全・適正就業委員会の開催、安全パトロールの実施、連合会安全就業促進大会への参加等を行った。また、夏季には、各職群の班長会議で夏場の熱中症対策と事故防止の注意喚起を行った。２５年度の就業中の傷害事故・物損事故はそれぞれ４件で、前年度と比べ、２件ずつ減少した。

4）相談事業

①就業相談の実施

シルバー人材センターへ入会を希望する地域の高齢者を対象に、毎月２回の入会説明会及び毎月１回の登録説明会を実施した。また、福岡県立大牟田高等技術専門校から受託している公共職業訓練生への就業相談を行った。

5）研修・講習事業

(1) 剪定班

①初級剪定講習会（5月7日）

新会員８人を対象に、個人住宅において剪定班長５人で初級剪定講習会を実施

②松の剪定講習会（5月２１日）

剪定会員の３９名が参加し、旧三井港倶楽部で三役が講師となり、松の剪定講習会を実施

③視察研修会（3月１１日）

剪定班の後継者育成、見積り基準、安全管理等について、班長全員による中間市シルバー人材センターの視察研修を実施

(2)除草班

新人研修会（2月２５日）

新入会員２人を対象に、旧新開クリーンセンターで班長による手取りの実技講習会を実施

(3)子育て、福祉・家事援助

①ふくおか子育てマイスター認定研修会（1月7日～1月３１日　7回講座）　女性会員２名が参加

②県連合会主催の筑後ブロック会員研修会（2月6日）　女性会員４名が参加

③県連合会主催の会員研修会（2月１８日）　女性会員８名が参加

(4)理事会

定時総会において承認された新役員に、「公益社団法人としての理事及び監事の職務」、県連合会事務局長を講師として、「これからのシルバー事業運営について」の研修会を実施

6）調査研究事業

公益社団法人としての経営の健全化を進めるために、県連合会主催の事務局長会議や担当職員研修会等での情報収集とともに、筑後ブロックで、受注事務の統合について先進地の滋賀県シルバー人材センター連合会へ視察研修を行った。

２　社会福祉法人大牟田市社会福祉協議会

根拠法令等	社会福祉法（第 109 条）	所 管 課	保健福祉総務課 地域福祉推進室

(1) 社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法に位置付けられ、住民の社会福祉に対する関心と理解を深め、地域における社会福祉の増進に努めるという理念のもとに、全国の都道府県市町村に設立されている。民間組織としての「自主性」と住民や社会福祉関係者に支えられた「公共性」という２つの側面をあわせ持った組織で、地域住民による福祉活動の組織化、社会福祉を目的とする事業の連絡調整及び事業の企画・実施等を行い、地域福祉活動の中心的な役割を担っている。

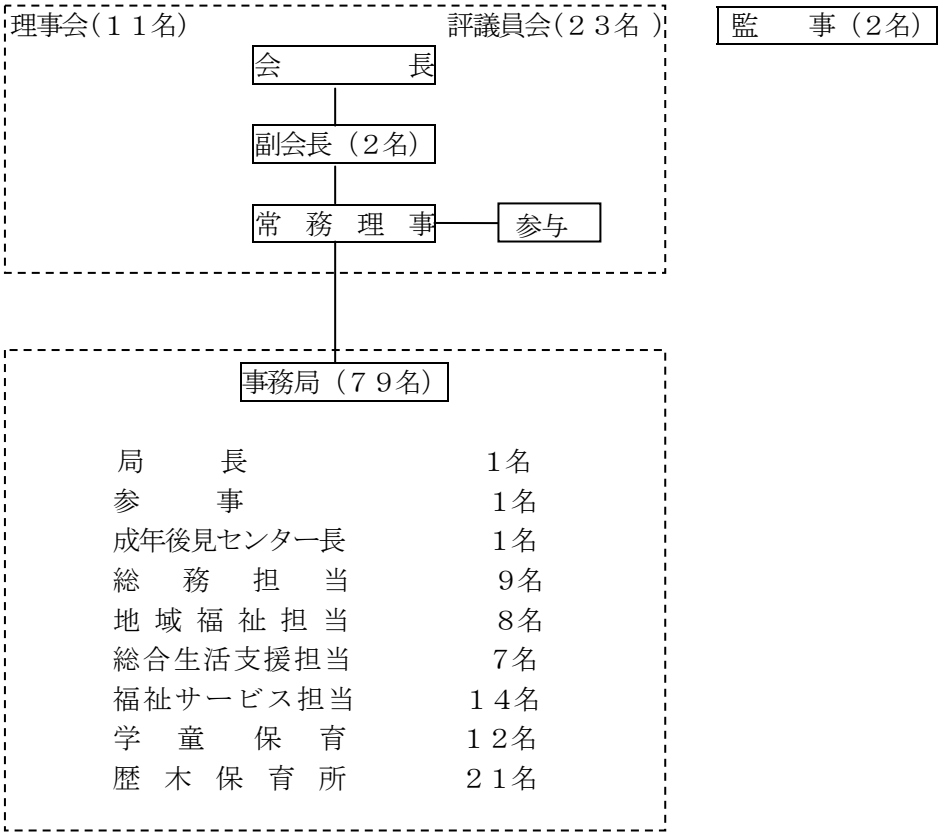
平成１２年に社会福祉事業法が大幅に改正され社会福祉法となり、その第１０９条では、社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」であると明記された。

大牟田市社会福祉協議会は、昭和２６年に任意団体として発足し、昭和４７年に社会福祉法人の認可を受け、以来、大牟田市の地域福祉推進役として住民のニーズにあった様々な事業活動を展開している。

現在は、「地域福祉推進と絆」をキーワードに、地域における様々な生活上の諸問題を地域全体の課題としてとらえ、みんなで考え、話合い、協力して解決を図る心ふれあう「誰もが安心して暮すことができるまちづくり」を目指し、関係機関・団体および行政等と協働して、様々な福祉課題の解決に積極的に取り組んでいる。

(2) 社会福祉協議会の機構と組織構成

（平成２６年８月１日現在）



(3) 社会福祉協議会の実施事業

急速な少子高齢化の進行や人口減少社会の到来により、単身世帯・核家族世帯が増加する中、個人の価値観の多様化や、地域社会のありようの変容等により、互いに支え合う力が弱まってきている。

大牟田市においては、高い生活保護率に見られるように、経済的困窮に苦しむ人たちも多く、また、孤立死、ひきこもり、虐待、DV、いじめ等、社会的孤立を要因とする課題が複雑に絡み合い、従来の施策や制度で対応することが困難なケースが増えている。

そのような中、私たちが住み慣れたまちで安心して暮らしていくためには、公的な保健・医療・介護・福祉サービス等の充実とともに、地域住民一人ひとりの自立のための努力や、地域や家庭に応じた「支え合い」「助け合い」が必要になってくる。

全国に先駆けて超高齢社会を経験する本市では、地域住民をはじめ、地域組織やボランティア、様々な企業、関係機関・団体が英知を結集し、多職種協働での取組みが必要であると考えている。

平成２５年度、本会では国の補助金等を活用しながら、居住支援協議会設立と成年後見センター開設を念頭に、様々な事業を展開した。また住民参加型福祉サービスの充実をはじめ、ふれあいサロン活動のように、今後の生活困窮者対策のための生活支援事業に積極的に取り組んだ。

上記の状況を踏まえ、平成２５年度事業は第２次地域福祉実践計画の３本の活動指針に沿って報告する。

活動指針１「つながり、支えあいのある“あたたかい地域”を実現します！」

校区社協会長連絡協議会や民生委員・児童委員協議会と協働し、福祉委員による要援護者の見守り・訪問活動を各校区で実施しているが、今後は、市全域で福祉委員制度の充実強化を図っていく。ふれあいサロン活動については、実践計画の目標値を超えたものの、更なるサロン活動の充実に向けて、課題把握に努めていく。

子育て支援においては、くぬぎ保育所が民間移譲されてから２年目になるが、入所児１００名を到達することができた。さらに市受託事業である学童保育所・ファミリーサポートセンター運営事業においても、２５年度実績は大幅増となった。

活動指針２「小さな声にも応える福祉サービスを提供し普及に努めます！」

おおむたキャロットサービス（住民参加型福祉サービス）は、年間活動件数も２４年度と比較すると大幅増となり、今後は介護保険制度改正を念頭に、協力会員・利用会員の登録の増加を目指し、大牟田特有のインフォーマルサービスとして更なる拡充を目指す。

介護保険事業等については、特に小規模デイサービス（ふれあい処えいる）の事業量の伸びが顕著となった。総合相談事業については、生活資金等貸付事業や日常生活自立支援事業に取り組むとともに、平成２５年度は、成年後見センター開設に向けての準備のための事業に取り組んだ。また、広報についても新たにフェイスブックを開設するなどの情報提供を行った。

活動指針３「誰もがまちづくりに参加できる活動をすすめます！」

平成２５年度は、福岡県総合防災訓練が実施されたことから、災害ボランティアセンターの設置がスムーズにできるよう、事前に災害ボランティアセンター養成講座で学び、訓練当日は、サテライト型の災害ボランティアセンターの設置訓練を行いました。また、福祉入門講座やセラピューティック・ケア養成講座、市民後見人実践講座などの各種養成講座や第５回大牟田市地域福祉大会、知的障がい児・者医療支援プロジェクト、コミュニティバス運行支援など、多職種協働で様々な事業に取り組んた。共同募金運動では、新たに「寄付金付き商品の企画」と「募金百貨店プロジェクト」に取組むとともに、「赤い羽根自動販売機」の設置に力を注いだ。その結果、平成２５年度の共同募金は、２４年度実績を上回ることができた。

(4) 校区社協活動への支援

①校区社協会長会の先進地視察研修

校区社協活動において先進的な活動を、他市町村の活動内容やネットワーク形成等について見聞を深めることで、地域福祉活動の充実を図ることを目的に実施した。

今回の研修先は、糸島市の中でも先進的な取り組みを行っている長糸校区社協にお願いした。「ひとり暮らし高齢者の見守りネットワーク」「安心ネット長糸」（要援護者の見守り）など区長、校区社協の役員さんをはじめ、民生児童委員、福祉委員、福祉協力員、見守り協力者などががっちりとスクラムを組み、手厚い見守りが行われている点などについて参加者は熱心に聞き入っていた。質疑応答では、民生委員や福祉委員などによる小地域ネットワーク活動の具体的な連携の仕方など、活発な質問や意見も出され非常に有意義な視察研修となった。

【開催日】　平成２５年１２月１３日（金）
【研修先】　糸島市長糸校区社会福祉協議会
【内　容】　校区社協活動における住民同士の連携について
【参加者】　１９人

②合同研修会の開催

地域リーダーである校区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、町内公民館連絡協議会、まちづくり協議会の各会長が、地域福祉活動の推進方法等を研修・研鑽することを目的に合同研修会を開催した。

【開催日】　平成２５年６月２７日（木）
【会　場】　おおむたハイツ２Ｆ　芙蓉の間
【内　容】　演題：まちづくりに必要な住民同士の支え合い～東京都立川市大山自治会の取組みから～
（講師）　大山自治会　会長　佐藤　良子さん
【参加者】　１０７人

(5)　小地域ネットワーク活動の充実

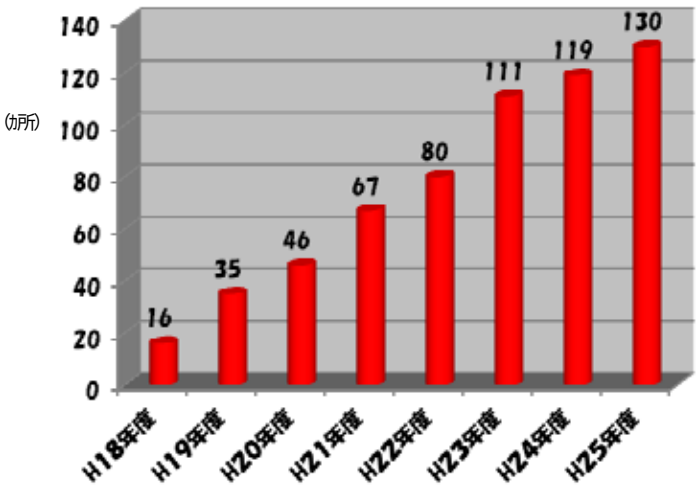
地域における小地域ネットワーク活動を活性化していくために、平成１８年度に福祉委員制度が発足した。各校区の世帯数に応じ、概ね１００～１５０世帯に１人の割合で配置された福祉委員が、見守り・訪問・支援活動を行っている。

平成２５年７月４日～６日にかけて、福祉委員の役割や地域福祉活動の意義等について総合福祉センターで「福祉委員研修会」を開催した。また、各校区において、小地域ネットワーク活動における福祉委員と民生委員・児童委員等との連携等をテーマに実践活動報告会や意見交換会等を下記のとおり実施した。

また、平成２５年度には、「福祉委員活動の手引き」を２，０００部作成し、校区社協を通じ、福祉委員へ配布した。

(6)　ふれあいサロン活動の充実

現在、サロン拠点は、市内に１３０ヵ所となった。サロンは、地域で高齢者や障がい児・者、子育て中の方が、生きがいと元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人同士のつながりを深める自主活動の場である。



サロンでの交流においての“ふれあいや生きがいづくり”が、高齢者等の自助努力を引き出し、介護予防等の効果を上げることが経験則として実証されており、高齢者の交流の場を確保することは地域社会との「つながり」をつくり、「孤立」を防ぐことに役立つと考えている。また、高齢者等が何らかの形で地域や近隣の人との接点をもつことによりふれあいが生まれ、さらには周囲が高齢者のニーズを把握することができ、見守り活動・安否確認など「支え合い」を行う端緒となると考えている。

(7) 子育て支援事業

①子育てきらりフェスタの開催

子育て支援の一環として、子育て中の親子が楽しめるイベントを実施。家族で楽しめるコンサートやプレーパーク、また、母親たちの特技や意見を取り入れ、共働でのイベントも実施した。

■子育てきらりフェスタ Vol.14 実施報告

【日　時】　平成２５年７月１３日（土）
【会　場】　大牟田市総合福祉センター
【内　容】　〈和　室〉　講師：ザ・ヒーリング（音楽）、猿渡　純子さん（ストレッチ）
ピアノと健康運動士によるママのためのリラックスストレッチ
ランチタイムコンサート（ピアノ・バイオリン）
＜大会議室＞　協力：little　mama
スイーツデコ（実費・体験は無料）・マジパン体験・フリーマーケット
【参加者】　全体受付　：　約１５０人（大人・子ども）、託児受付　：　３３人

■子育てきらりフェスタ Vol.15 実施報告は、社協“絆”フェスティバルにて掲載

■子育てきらりフェスタ Vol.16 実施報告
【日　時】　平成２６年１月２１日（火）
【会　場】　大牟田市総合福祉センター
【内　容】　＜中会議室＞ 講師：上野　恵美さん（アレルギー対応ケーキ工房ハートフルスプーン代表）
「おいしく安全にアレルギー代替食」簡単なおやつ作り
＜和　室＞　講師：黒田　由香里さん
ママのための骨盤エクササイズ
＜大会議室＞　協力：little mama
スイーツデコ・プチフリーマーケット・雑貨販売
【参加者】　全体受付 ： 約７０人（大人・子ども）、託児受付 ： ２１人

②子育てサロン“マザーリーフ”開催

子育て中のお母さん同士の情報交換の場や子どもとのふれあいの場として毎週水曜日（第５週は除く）に開催した。

■内容 ： 読み聞かせ、体重・身長計測、お誕生会、季節の行事自由遊び等

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計（人）
大 人	31	28	25	29	26	26	26	24	15	15	27	19	291
子ども	41	45	32	42	38	33	37	32	21	22	42	32	417
ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ	4	6	4	5	3	14	3	8	5	1	8	7	68
計	76	79	61	76	67	73	66	64	41	38	77	58	776

※参加者数は、前年比７０．８％（前年度１，０９６名）

③チャイルドシート貸出事業

（貸出状況：保有台数：チャイルドシート２６台、ジュニアシート９台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	26	17	11	33	23	20	17	17	27	16	7	14	228

※件数は、前年比６９．９％（前年度３２６件）

④情報掲示板「ベビクル」の状況

使わなくなった育児用品をゆずりたい人から必要な人に渡すための情報を、ホームページを通して情報提供している。３月末までの取扱い件数は、１４件。主な育児用品は、ベビーシート、ベビーカー、チャイルドシート、クーハン等。

(8) ファミリー・サポート・センター事業（市受託事業）

①ファミリー・サポート・センター会員数　　（単位 ： 人）

区　分	平成24年度末	平成25年度登録	平成25年度退会	平成26年3月末	今年度増減
利用会員	７１９	６３	９４	６８８	△３１
協力会員	１２８	６	５９	７５	△５３
相互会員	９３	５	２３	７５	△１８
合　計	９４０	７４	１７６	８３８	△１０２

※協力会員および相互会員に対して、会員登録継続の意思確認を行った結果、現在活動できない会員から退会希望の回答があり、会員数が大きく減少した。

②ファミリー・サポート・センター講座の開催

■第１回　協力会員養成講座

【期　間】　平成２５年6月１９日～6月２７日　全5回　（計１０時間）

【会　場】　フレンズピアおおむた

回	日　程	講　座　内　容	講　　師	受講者数
1	6月１９日	開講式 センターの仕組みについて 事例発表	アドバイザー 高宗春恵さん（協力会員）	９人
2	6月２０日	子どもの世話と遊び	くぬぎ保育所・山田所長	６人
3	6月２５日	子どもの救命救護講座	大牟田消防署	４人
4	6月２６日	子どもの心と体の発達	保健師　藤好アヤ子さん	７人
5	6月２７日	簡単クッキング 今後の活動について	食育インストラクター 堺　婦小与さん	４人

【登　録】　相互会員登録　７人　　協力会員　１人

■第２回　協力会員養成講座

【期　間】　平成２５年１１月１３日～１１月３０日　全5回　（計１０時間）

【会　場】　大牟田市総合福祉センター及びえるる

回	日　程	講　座　内　容	講　　師	受講者数
1	11 月 13 日	開講式 センターの仕組みについて 事例発表	アドバイザー 大野まゆみさん（協力会員）	7 人
2	11 月 16 日	子どもと楽しく遊ぼう （子どもの世話と遊び）	くぬぎ保育所・山田所長	4 人
3	11 月 20 日	子どもの救命救護法	大牟田消防署	9 人
4	11 月 27 日	子どもの心と発達について学ぼう	誠修高校　多田隈清美さん	10 人
5	11 月 30 日	健康な心とからだを育む、 子どもに食べさせたい料理 今後の活動について	食生活改善推進員協議会	6 人

【登　録】　協力会員　５人

※協力会員養成講座の未受講の内容については、今後ステップアップ講座で対応することとする。

■ステップアップ講座

【会　場】　えるる

回	日　程	講　座　内　容	講　　師	受講者数
1	10 月 22 日	コミュニケーション能力を高めよう ～子育て支援者としての関わり方～	コミュニケーション・ ラウンジ YANO 代表 矢野隆子さん	13 人
2	3 月　4 日	気になる子どもとのかかわりを 通して	大牟田特別支援学校 教頭　所方敏彦さん	14 人
3	3 月 20 日	子どもと楽しむ遊びのレパートリーを増やそう	協力会員 光安妙子さん	8 人

■安全対策講習会

【日　程】　平成２５年１１月２日

【会　場】　えるる

【テーマ】　子どもに起こりやすい事故の予防と手当を学ぼう

【講　師】　九州看護福祉大学　山内香織さん

【受講者】　７人

(9) 放課後児童健全育成事業（市受託事業）

①学童保育所・クラブの運営（三池・高取・中友・白川・大牟田・平原）

放課後児童対策として、昼間児童（概ね小学校１～３年生）の養育ができない家庭などの児童に対して、適切な遊びと生活の場を提供するとともに、各学童保育所においては、地域組織等と連携し様々な世代間交流事業を実施した。

（入所児童数：平成２６年３月３１日現在）

学　童　名	三池	高取	中友	白川	大牟田	平原	計
児童数（人）	３８	１６	２１	３４	４１	２０	１７０

(10) くぬぎ保育所運営事業

「みんなが笑顔になれる保育所」を合言葉に、保育のさらなる充実に向けて日々努力を積み重ねる中、今年度は入所児童数が５月に定員（９０名）に達した。

昨年から導入した田植え、味噌作り、稲刈りなどの食育を中心とした行事も定着してきた。親子で取り組む味噌作りは開催を心待ちにしていただけるようになってきている。

５歳児、４歳児が行った、ふれあい処「えいる」を含む老人保健施設との交流は、定期的に交流することで内容が充実し園児の心の成長に大きく影響した。

園庭開放「どんぐりクラブ」（未就園児を対象とした）は、毎回参加してくれる親子もあって園児や職員との交流も充実してきた。

実施日	主な事業	実施日	主な事業
4 月 1 日	入園式	10 月 13 日	運動会
5 月 17 日	バス遠足（大野城いこいの森）	10 月 15 日	稲刈り
6 月 20 日	田植え体験	11 月 6 日	芋ほり
7 月 13 日	親子で味噌つくり体験	12 月 6 日	世代間交流餅つき
7 月 27 日	お祭りごっこ、ちびっこ総踊り参加	12 月 21 日	クリスマス会
8 月 3～4 日	年長お泊り保育	2 月 3 日	節分、豆まき
8 月 31 日	親子ふれあいバザー	3 月 21 日	卒園式

※ふれあい処「えいる」との交流（年長児）
※高齢者施設である　恵愛の里、いろは、米の山デイサービス訪問
※学童保育所との交流
※園庭開放　「どんぐりクラブ」　９回開催

■平成２５年度　どんぐりクラブ（園庭開放）　参加者数

5月	6月	7月	8月	9月	１１月	１２月	2月	3月
１０組	5組	１１組	4組	8組	4組	8組	4組	１１組

■平成２５年度　どんぐりクラブの内容

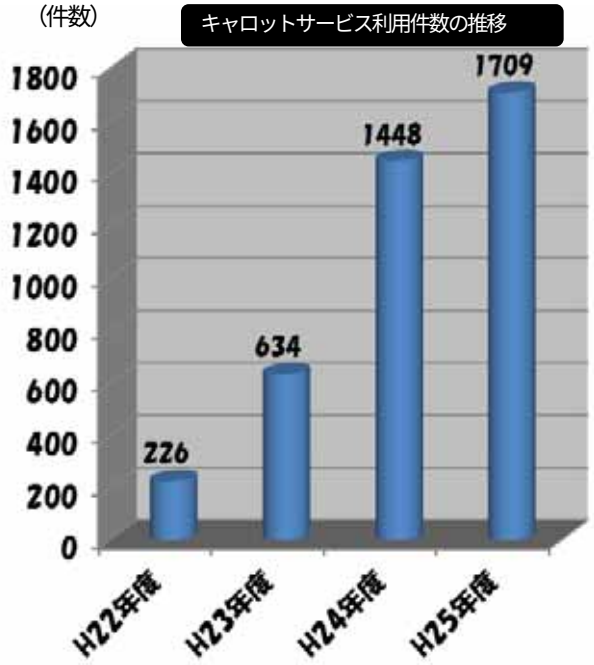
５月	リズムあそび	６月	プールあそび	７月	七夕まつり
８月	プールあそび	９月	オープン保育	１１月	ふれあい動物園
１２月	もちつき	２月	リズムあそび	３月	おひなまつり

(11) おおむたキャロットサービス（住民参加型在宅福祉サービス）

①おおむたキャロットサービスの充実

日常生活において、公的サービスでは対応できない生活課題を抱えている一人暮らし高齢者等に対し、サポーター登録した協力会員が生活支援サービスを行った。

会員数	23 年度	24 年度	25 年度
利用会員	84 人	87 人	142 人
協力会員	26 人	36 人	43 人
合　　計	110 人	123 人	185 人



②「夏・ふれ愛・子どもふくし塾～キャロット応援隊員になろう～」実施

子どもたちが将来の地域福祉の担い手となり、高齢者を支える存在となるよう、福祉教育の一環として、“高齢者を知る”ことを学んだ。　（参加小学生：延べ６５人）

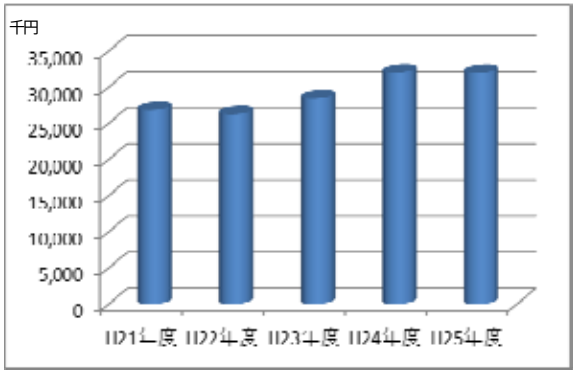
回	日　程	ふ く し 塾 内 容	講　　師	受講者数
1	８月　８日	“助け合う”って何だろう ～東日本大震災のお話～	大牟田市社会福祉協議会 彌永　恵理	１２人
2	８月　９日	60 年後の自分を想像してみよう ～高齢者の気持ちを考える（からだ編）～	大牟田市社会福祉協議会 内野　周一 西山　　綾	１５人
3	８月１２日	もしも認知症になったら？ ～高齢者の気持ちを考える（こころ編）～	大牟田市長寿社会推進課 梅本 政隆 さん	１１人
4	８月１９日 ～ ８月２３日	高齢者とふれあってみよう ～地域のサロン&キャロットサービス体験～ ・キャロットサービス同行 ・サロン３ヵ所 ・えいる、絆けんこう教室	8/19 ｷｬﾛｯﾄｻｰﾋﾞｽ 絆けんこう教室 8/20 サロン手鎌 わくわくサロン 8/21 えいる 8/22 いきいきサロン	１５人
5	８月２８日	きみはキャロット応援隊員第１号！ ～自分の気持ちをまとめる・伝える・修了証授与～ 夏しかできない！そーめん流しを楽しもう ～小さい子から高齢者まで、みんな一緒～	大牟田市長寿社会推進課 梅本 政隆 さん 龍湖瀬公民館長	１２人

(12) 高齢者福祉対策の推進

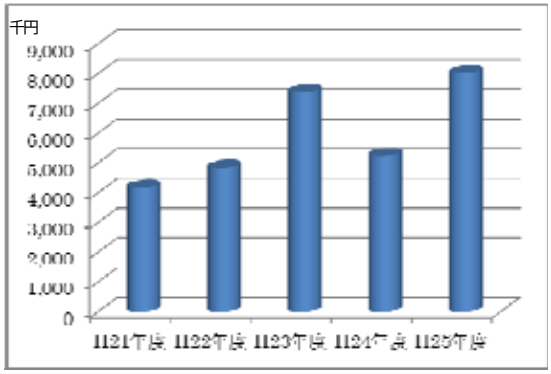
①介護保険事業の充実

訪問介護（ホームヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）、居宅介護（ケアプランの作成），通所介護（ふれあい処えいる）の４事業を実施し、要支援、要介護者の在宅生活を支援した。

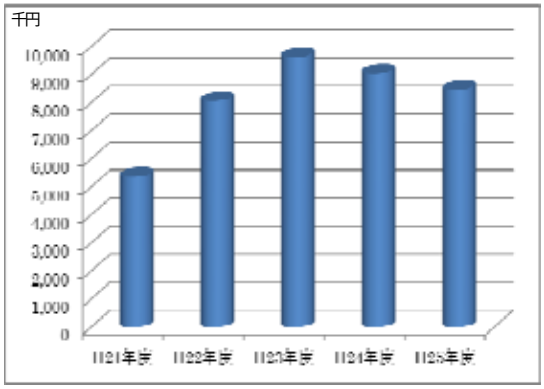
訪問介護事業（ホームヘルプ）実績



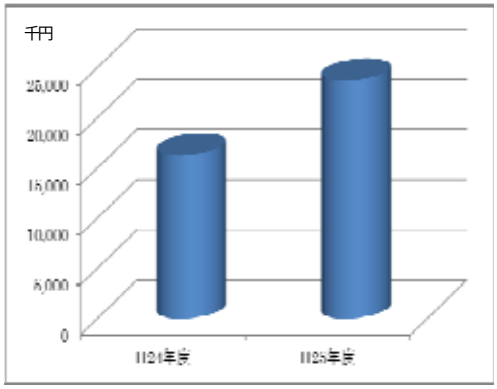
訪問入浴事業（入浴サービス）実績



居宅介護支援事業（ケアプラン）実績



通所介護事業（ふれあい処えいる）実績



【平成２５年度介護保険事業の総括】

■訪問介護事業では前年度実績より、事業件数については３０件増であるが、収入面では３７千円減となった。前年度実績と比較すると、０．１％減となった。

■訪問入浴事業では前年度実績より２，７８４千円増となり、事業件数も２１３件増となった。これは他事業所が入浴事業を撤退したことによる利用者受入れが大きな要因となった。

■居宅介護支援事業では前年度実績より５９１千円減、事業件数５５件減となった。

■通所介護（えいる）事業では、前年度実績より７，４４７千円増となり、延利用件数も７７８件増となった。

※４事業合計として、前年度実績と比較すると９，６０３千円収入増という結果となった。

（各年度事業実績）

事　業　名		２１年度	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度
訪問介護サービス	収入（円）	26, 843, 182	26, 248, 165	28, 396, 728	32, 027, 405	31, 990, 254
	件数（件）	7, 637	7, 411	8, 239	9, 683	9, 713
訪問入浴サービス	収入（円）	4, 173, 859	4, 837, 532	7, 374, 639	5, 232, 207	8, 016, 180
	件数（件）	321	374	549	411	624
居宅介護支援事業	収入（円）	5, 359, 500	8, 063, 700	9, 627, 140	9, 050, 200	8, 459, 620
	件数（件）	586	652	810	847	792
通所介護（えいる）	収入（円）	—	—	377, 423	16, 283, 080	23, 730, 030
	件数（件）	—	—	36	1, 763	2, 541
総合計	収入（円）	36, 376, 541	39, 149, 397	45, 775, 930	62, 592, 892	72, 196, 084
	件数（件）	8, 544	8, 437	9, 634	12, 704	13, 670

②介護予防･相談センターの運営（市受託事業）

中央地区地域包括支援センターのサブセンターとして、平原・上官校区に加え白川・大牟田・大正・中友校区を担当し、介護認定により要支援と認定された高齢者及び二次予防事業対象の高齢者（特定高齢者）に対して、介護予防プラン等の作成や訪問を行うことにより高齢者の心身の健康保持、生活の安定のために必要な支援を関係機関、サービス実施事業者等と連携して実施した。

また、介護予防の普及・啓発を目的とした介護予防啓発教室を６校区それぞれで実施し、大牟田市が行う介護予防事業につなぐことができた。

（各年度事業実績）

事　業　名		２１年度	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度
介護予防・相談センター	収入（円）	3,511,080	3,442,720	3,779,360	4,853,480	5,982,120
	件数	701	660	762	704	956

③日常生活自立支援事業

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分なため、日常生活に困っている人たちに対して生活支援員を派遣し、自立した生活ができるよう福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理等を行った。

また、生活支援員のスキルアップと活動意欲の向上を目的にフォローアップ研修を実施した。

【相談件数】２９件　　【利用者数】４４人　　【利用件数】７２７件

（実施状況）　　（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
相談受付	2	1	1	3	2	6	3	3	2	4	1	1	29
利用件数	55	66	55	62	64	60	62	65	65	57	60	56	727

④「在宅介護者の会」活動支援

在宅介護者に対する情報提供、相互交流を目的とする「在宅介護者の会」の事務局を担い、様々な活動支援を行った。

■大牟田市在宅介護者の会「げんきかい」…会員数２１人
【目　的】在宅介護者が本音で語り合い、交流することを通じて、「介護」にかかる課題を解決していくことを目的に実施。
【定例会】毎月第４水曜日に実施。
※介護体験を語るおしゃべり会を中心に、学習会、カラオケ大会などを実施。また、年２回、日帰り温泉旅行などリフレッシュ事業にも取り組んだ。
【その他】会員増のため、社協だより「きらり」での広報や在宅介護者の声を発信するため、大牟田市地域包括支援センター運営協議会に委員として出席している。

⑤車椅子貸出事業

在宅の高齢者・障がい（児）者等に対して、日常生活の便宜と介護者の負担軽減を図るため、延１２８人に無料で車椅子を貸し出した。

（貸出実績）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	12	5	9	14	10	9	13	13	15	5	14	9	128

(13) おもちゃの図書館“くるりん”の支援

障がいのある子どもも、ない子どもも共に遊び交流し、育ちあう場として開催。

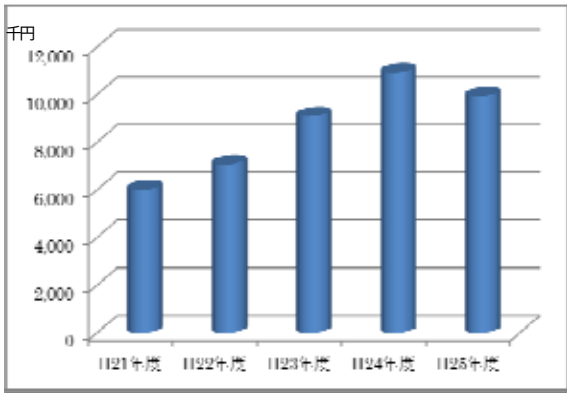
【開催日時】毎月第４土曜日　１０：００～１２：００　（１０月まで）
毎月第３日曜日　１０：００～１２：００　（１１月から）

(14) 障がい児･者福祉対策の推進

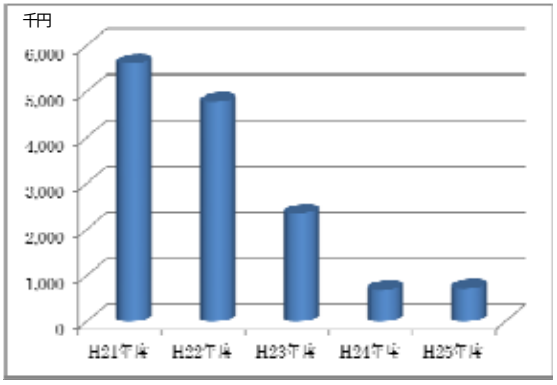
①障害者自立支援サービス事業

障害区分認定を受けた在宅の障がい者に対して、居宅サービス（ホームヘルパー派遣）、移動支援（ガイドヘルパー派遣）、訪問入浴（入浴車による訪問入浴）の３事業を実施し、在宅生活を支援した。

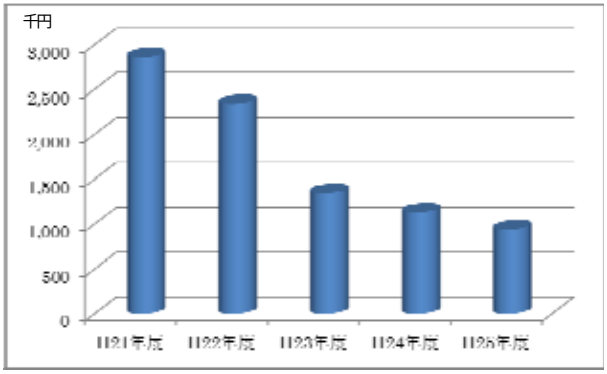
障害者居宅サービス事業（ホームヘルプ）実績



障害者移動支援事業（ガイドヘルプ）実績



障害者訪問入浴サービス事業実績



【平成２５年度障害者
自立支援サービス事業の総括】

■居宅サービス事業では前年度実績より 1,046 千円減、事業件数については、258 件の減となった。これは、利用者が 65 歳になったため、介護保険に移行したことなどが要因である。

■移動支援事業では前年度実績より 30 千円の増。

■訪問入浴サービス事業では前年度実績より 190 千円減、事業件数も 20 件減となった。
これは、利用者が 65 歳になったため、介護保険に移行したことが要因である。

※3 事業合計として、前年度実績と比較すると
1,206 千円収入減という結果となった。

(各年度事業実績)

事　業　名		２１年度	２２年度	２３年度	２４年度	２５年度
障害者居宅サービス事業	収入（円）	6,017,141	7,076,318	9,091,037	10,927,730	9,881,849
	件数（件）	2,106	2,092	2,493	2,726	2,468
障害者移動支援事業	収入（円）	5,611,926	4,774,662	2,351,593	689,370	719,234
	件数（件）	1,374	1,261	687	355	368
障害者入浴サービス事業	収入（円）	2,861,875	2,343,650	1,349,000	1,130,500	940,500
	件数（件）	327	262	142	119	99
総 合 計	収入（円）	14,490,942	14,194,630	12,791,630	12,747,600	11,541,583
	件数（件）	3,807	3,615	3,322	3,200	2,935

②知的障がい児･者医療支援プロジェクト

平成２３年２月に実施した「知的障がい児・者医療受診アンケート調査（以下、アンケート調査）」結果を受け、アンケート調査報告書及びダイジェスト版、啓発用ＤＶＤ（笑顔のまちおおむた）の作成、加えて、アンケート調査結果報告会の開催など、民生委員・児童委員などの地域関係者や医療・介護関係者、保健師、養護教諭に対して、知的障がい児・者が置かれている厳しい医療環境の実態を周知啓発することに重きをおいて、支援活動を展開してきた。活動の成果として、大牟田市障害福祉計画において、「特別支援学校における医療受診の模擬訓練の実施」が明文化されたところである。

平成２５年度は、知的障がい児・者医療支援実践報告を策定し、知的障がい児・者医療支援プロジェクトを３部会（医療連携部会・教育連携部会・保護者部会）に設定し、部会ごとに医療支援に取組んだ。

(15) 総合相談事業の推進

①福祉サービス苦情解決相談

在宅福祉サービス利用における様々な問題について、当事者間で解決できない場合「第三者委員会」でその解決を図るため設置しているが、平成２５年度は相談依頼がなく、開催していない。

②行政書士による法務相談

毎月第３水曜日に行政書士による法務相談を実施し、家庭、離婚、金銭貸借、財産相続、事故などの相談に親身になって対応し、高度な対処法について無料弁護士相談や関係機関へ橋渡しをした。平成２５年度実績は、５０件。

（相談件数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
件数	10	2	6	6	0	2	4	2	0	4	8	6	50

③生活福祉資金貸付事業（県受託事業）

低所得者、高齢者及び障がい者等の世帯に対して、生業、住宅、災害、福祉、修学、緊急小口、離職者等の各種資金の貸付相談の受付を行い、民生委員の協力のもと、借受世帯の自立に向けた指導、支援を行った。

（生活貸付福祉資金状況）　　（単位：千円）

	２３年度		２４年度		２５年度	
	件　数	金　額	件　数	金　額	件　数	金　額
生活支援費	6	2,691	0	0	1	210
住宅入居費	0	0	0	0	0	0
一時生活再建費	0	0	0	0	0	0
福　祉　費	8	9,460	3	1,820	4	367
緊 急 小 口	22	2,100	9	800	8	737
教育支援費	3	4,422	4	5,178	6	3,364
就学支度費	7	1,560	3	1,293	8	4,359
そ　の　他	0	0	0	0	0	0
合　　計	46	20,233	19	9,091	27	9,037

④住宅手当緊急特別措置事業（市受託事業）

住宅手当緊急特別措置事業は、離職者であって就労能力・就労意欲のある人の中で、住宅を喪失しているか、喪失するおそれのある人に対して住宅手当を支給することにより、これらの人に住宅及び就労機会の確保に向けた支援を行うことを目的としている。

【相談件数】　４８件
（うち面接相談３４件、電話相談１４件）
【申請件数】　６件
【支給決定件数】　６件
【就職決定者数】　５件

この事業を実施するに当たっては、市保護課やハローワークと連携し、「生活保護受給者等就労自立促進事業」を活用した就労支援や、必要に応じて本会が窓口である生活福祉資金貸付事業を併用しながら、当事者の支援にあたった。

⑤成年後見センター準備事業

現在、日常生活自立支援事業（判断能力が不十分な方の金銭管理等支援）を実施しているが、より判断能力が低下した認知症や精神障がい・知的障がい者の財産管理や暮らしをサポートする「成年後見制度」の普及のため、市や他職種との協働により、成年後見フォーラム、成年後見活用講座を昨年度同様に実施した。

また成年後見制度に関する相談窓口、市民後見人と協働した成年後見支援の実現のため、26年4月開設予定の成年後見センター（仮称）の受託にむけ、市や他職種と協議や本会職員の実務研修を行った。

■成年後見活用講座
【開催期日】平成25年5月28日～6月25日の毎週火曜日・全5回
【会　　場】総合福祉センター
【研修内容】「成年後見制度」「人権・権利擁護」「対象者の理解」「社会資源」など
【修了者数】14名
この成年後見センター（仮称）の受託に先駆け、家庭裁判所と協議し、1 件の法人後見受任を行った。さらに厚生労働省社会福祉推進事業の補助事業である「法人後見のあり方に関する他職種との連携についての調査・研究」を実施、全国の成年後見事業実施社協へのアンケート調査及びインタビュー調査を行い、その結果を九州の社協職員を対象に研修会にて報告した。

■社協で支える成年後見研修会
【開 催 日】平成26年2月15日（土）
【会　　場】オオムタガーデンホテル
【研修内容】法人後見のあり方に関する他職種連携についての調査・研究報告会等
【参 加 者】90名

(16) 社協広報の充実

①広報紙「きらり」の発行

年4回（4月・7月・10月・1月）、全世帯を対象に発行している社協福祉情報「きらり」を発行した。

②社協事務局通信「きらり」の発行

毎月1回、社協事務局通信「きらり」を発行し、タイムリーな情報を提供した。

③社協ホームページ (http://www.omshakyo-kizuna.com/)

社協の様々な活動・事業内容を紹介、また社協職員日記を毎日掲載した。
また、平成２５年度より居住支援協議会、共同募金等の取組みについてフェイスブックを立ち上げた。

(17) ボランティアセンター充実強化

①ボランティア情報提供と啓発

地域において、ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結ぶために、登録団体名簿・ボランティアニーズ情報紙を用い、ボランティアが自分の希望する活動を選択できるよう、コーディネート機能の充実に努めた。

（ボランティアセンター登録状況）

	２３年度	前年比（%）	２４年度	前年比（%）	２５年度	前年比（%）
グループ（団体）	35	67.3	51	145.7	61	119.6
個人（人）	16	26.2	29	181.3	24	82.8

②ボランティア活動保険加入について

地域行事やボランティア活動等を支援するため、ボランティア活動保険の加入受付を行った。

（ボランティア活動保険加入状況）

	２３年度	前年比（%）	２４年度	前年比（%）	２５年度	前年比（%）
保険加入者数	2,911	103.2	1,289	44.3	1,018	79.0

③福祉入門講座HAPPYボランティア～知る・見つける・やってみる～

地域住民の福祉サービスに対する理解を深めるとともに新たな福祉人材の育成を目的として、久留米市

社会福祉協議会の筑後地区福祉人材バンクより助成を得て、下記のとおり「福祉入門講座 HAPPY ボランティア」を開催した。

回	日 時/会 場	タ イ ト ル	講　　師	参 加 者
1	１０月１１日 19:00～21:00 イオンホール	ボランティアってな～に？ ～ボランティアについて知ろう！～	ＮＰＯ法人 日本ボランティアＣＯ協会 理事　加留部　貴行　さん	３４名
2	１０月１７日 13:30～15:30 総合福祉センター	～幸せになる～　傾聴講座	ＮＰＯ法人 日本ソーシャルコーチ協会 理事長　冨岡　郁雄　さん	３８名
3	１０月２１日 13:30～15:30 イオンホール	レクリエーションで楽しもう！	ＮＰＯ法人 福岡県レクリエーション協会 理事長　添田　譲二　さん	５７名
4	１０月３１日 13:30～15:30 イオンホール	私たち、こんなボランティアをやっています！ ～ボランティア活動のやりがい～	キャロットサービス協力会員 サロンお世話役　等	６１名
5	１１月　６日 13:30～15:30 総合福祉センター	あなたにもできること あなたこそできること	東日本大震災 ～絆～プロジェクトおおむた 事務局　彌永　恵理　さん	３４名

④タブレットde楽しみ隊“タブレッツ”活動状況

タブレットを活用したサロン等サポーター養成事業「タブレット DE 地域デビュー講座～人生に彩りを～」（２４年度実施）後に立ちあがったボランティア団体「タブレット DE 楽しみ隊（愛称：タブレッツ)」の地域での活動が始まった。

活　動　日	活　動　訪　問　先	対 象 者 数	ボランティア
４月１５日	絆けんこう教室	１９名	４名
５月２１日	サロン　ハッピーふくし	１５名	３名
６月１６日	もの忘れ予防・相談検診ｉｎ天の原小学校	３４名	３名
８月　３日	上官いきいきサロン	１４名	８名
９月２５日	大牟田市在宅介護者の会	９名	５名

⑤セラピューティック･ケアによるボランティア養成講座

心のケアの一つとして、セラピューティック・ケア（服の上から手の温もりで優しく身体に触れ、身体と心を癒す療法（セラピー)）をボランティアのスキルの一つとして取り入れ、地域のサロンや福祉施設等で活躍していただくボランティアの養成を図った。

【日　時】平成 26 年 2 月 22 日（土）9:30～16:30
【場　所】大牟田市総合福祉センター
【受講者】２４名
【講　師】NPO 法人日本セラピューティック・ケア協会

⑥災害ボランティアセンター設置

■災害ボランティアセンター養成研修

【日　時】　平成２５年４月２７日（土）～２８日（日）
【会　場】　総合福祉センター
【講　師】　NPO 法人にいがた災害ボランティアセンター
　　理事・事務局長　李　仁鉄 さん
　　福岡県防災研究会　宮崎　雄輔 さん
　　NPO 法人　ANGEL WING
　　理事長　藤澤　健児 さん

【内　容】〈１日目〉 参加者　５０名
オリエンテーション・事務連絡
講義：（１）災害救援の全体像
講義：（２）災害時の支援活動と拠点整備
演習：（１）被災者ニーズの理解と把握について
まとめ：今日の振り返り
〈２日目〉 参加者　４０名
オリエンテーション・事務連絡
災害ボランティアセンター設置訓練
災害ボランティアセンター運営訓練
グループミーティング

■平成２５年度福岡県総合防災訓練
（災害ボランティアセンター設置訓練及び福祉避難所受入訓練）
【日　時】　平成２５年6月２日（日）１０：００～１２：３０
【会　場】　三川地区公民館
【参加者】　１０８名

（三川地区公民館へサテライト型の災害ボランティアセンター設置訓練）
≪災害想定≫　発災日：５月２７日（月）
災害ボランティアセンター設置日：５月２９日（水）被害規模：中規模災害
被害場所：諏訪川の氾濫による水害
被害状況：床上浸水１５０世帯、床下浸水１５０世帯
※災害ボランティアセンター設置後、初めての日曜日なので多くのボランティアが押し寄せると予想される。

（総合福祉センターへ福祉避難所として要援護者受入れ訓練）
≪災害想定≫　天領小学校へ避難していた要援護者２名を福祉避難所（総合福祉センター）へ受入れ。要援護者を車で天領小学校体育館から総合福祉センターへ市職員が送迎。３階小規模デイサービス（えいる）で要援護者のバイタルチェック等を行った。

⑦第5回大牟田市地域福祉大会～地域支えあい“絆”セミナー～

市民一人ひとりが自ら住んでいる地域に積極的に関わり、地域住民の「支えあいの“絆”」の創造に寄与することを目的に開催した。また、地域福祉の向上に貢献され、他の模範となる個人又は団体に対する表彰状の授与を行うことで活動者の行いを公に明らかにするとともにその功績を称えた。なお、平成２５年度は大牟田善意銀行創立５０周年の節目の年にあたることから善意銀行永年賛助会員を併せて表彰した。

【日　時】平成２６年２月９日（日）
【場　所】大牟田文化会館　小ホール
【主　催】大牟田市地域福祉大会実行委員会
【参加者】４００名
【内　容】
［第１部］大牟田市社会福祉協議会　功労者表彰
（表彰の部）
■校区社協実践活動者・団体（１２名）
■優良校区社協（１校区）
■ボランティア活動団体（５団体）

（感謝の部）
■校区社協実践活動者・団体（６３名）
■ボランティア活動団体（２団体）
■善意銀行高額寄付者・団体（３団体.・１４名）
善意銀行５０周年特別枠
（表彰の部）
■特別表彰（２団体）
（感謝の部）
■特別感謝（３団体）　■永年賛助会員（５５名）

［第２部］大牟田善意銀行５０年のあゆみ
大牟田北高生徒による「書道パフォーマンス」

［第３部］基調講演「できない」を「できる」に変える
～地域づくりは「あなた」が主役～
（講師）東京農業大学教授
一般社団法人北海道活性化機構　代表理事　木村　俊昭さん

(18) 福祉教育の推進

小・中学校を対象として、福祉教育を推進し社会福祉への理解と関心を高めるとともに、ボランティア活動と地域福祉活動への参加促進を図った。

①福祉教育教材貸出状況

福祉教育に用いてもらうため、小・中学校や高校、事業所に高齢者疑似体験セット・車椅子・アイマスク・白杖・ビデオ等を貸し出した。

区　分	ビデオ・DVD（本）	疑似体験（セット）	白杖（本）	アイマスク（枚）	車椅子（台）
小 学 校	11	29	35	44	13
中 学 校	6	24	32	33	22
高等学校		6			
そ の 他		12			
合　　計	17	71	67	77	35

②講師派遣状況

児童・生徒の福祉教育の推進を目的とし、視覚・聴覚障がい者の人などを講師（ゲストティーチャー）を派遣。また点字指導には点訳奉仕大牟田むつき会の協力を得た。

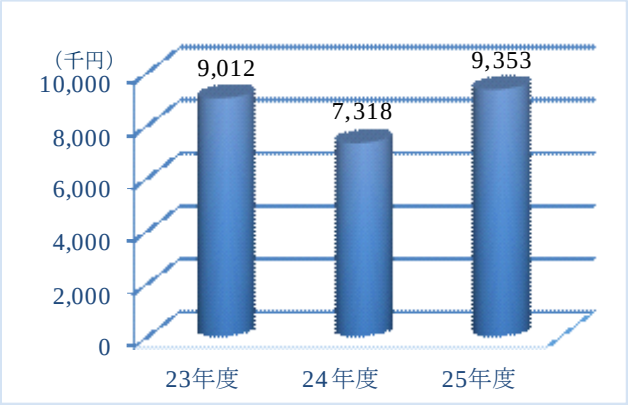
	２３年度	前年比（%）	２４年度	前年比（%）	２５年度	前年比（%）
派遣件数	34	106.3	25	73.5	19	76.0

(19) 居住支援協議会活動支援事業（国庫補助事業）

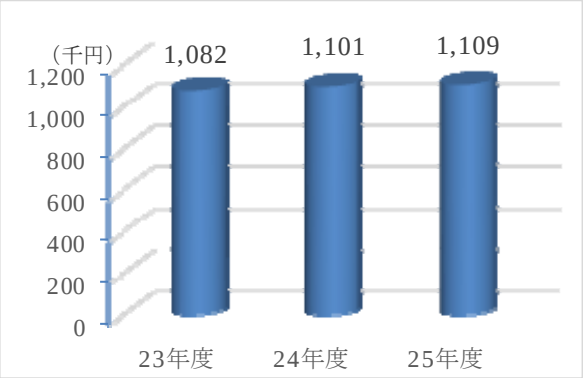
高齢者や障がい者などの住宅確保要配慮者の民間賃貸住宅への円滑な入居を促し、空き家を活用しながら安心して居住できる仕組みづくりを行うことを目的に、不動産・福祉・医療・行政等の各団体と連携し、平成２５年６月に居住支援協議会を設立した。平成２５年度は、民生委員・児童委員協議会の協力を得て、市内にある空き家の実態調査を実施し、２，８５３戸の空き家に対して外観調査を行った。また、先進地の視察及びモデル事業実施に向けた研究、セミナー開催やホームページ・フェイスブック開設による協議会の周知及び啓発活動を行った。

(20) 大牟田善意銀行の啓発強化

一般寄付金の３ヵ年の推移



賛助会員会費の３ヵ年の推移



（寄付金等預託状況）

		２３年度	前年比(%)	２４年度	前年比(%)	２５年度	前年比(%)
一般寄付金	件数(件)	462	100.7	408	88.3	372	91.2
	金額(円)	9,011,791	112.0	7,317,789	81.2	9,352,547	127.7
物品寄贈件数		21	131.3	21	100	19	90.5

（賛助会員数等の推移）

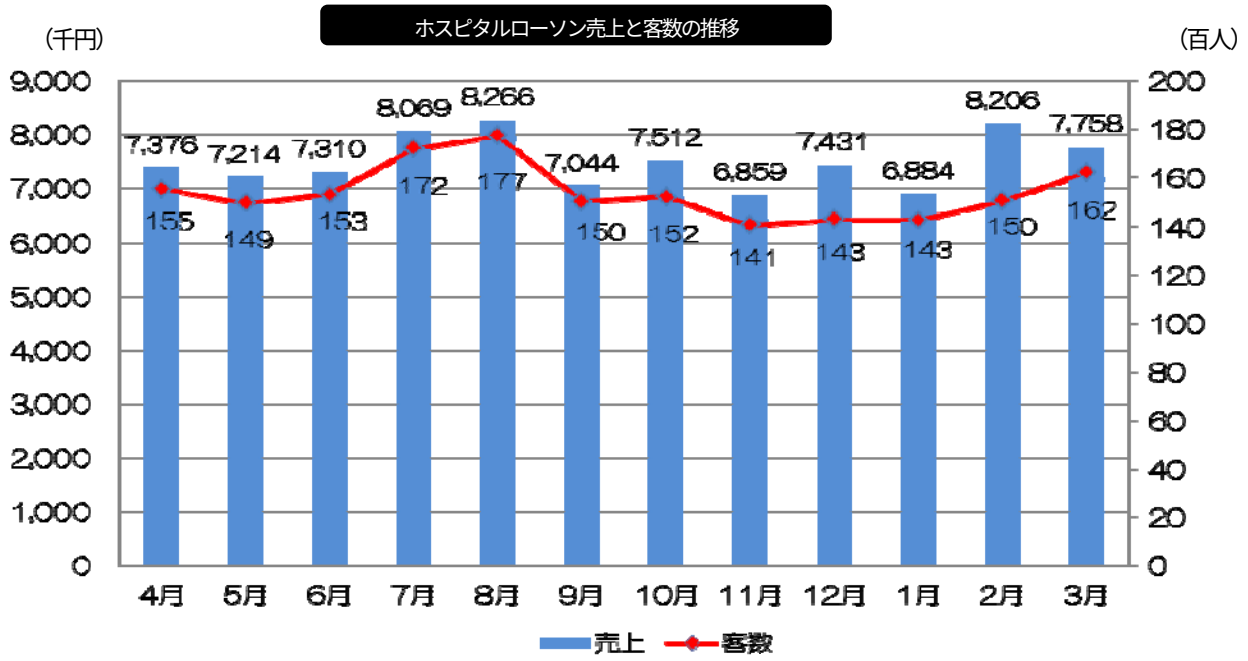
	２３年度	前年比(%)	２４年度	前年比(%)	２５年度	前年比(%)
会員数（個人・団体）	426	90.1	403	94.6	405	100.5
金　額（円）	1,081,500	105.6	1,101,000	101.8	1,109,000	100.7

(21) 市立病院ほっとスペースの運営

市立病院内施設の再編に伴い、平成２５年より大牟田市立病院２階に、コンビニエンスストア機能と食事処の機能をあわせもつ、くつろぎ空間ほっとスペースを開設し、１月に１周年を迎えた。

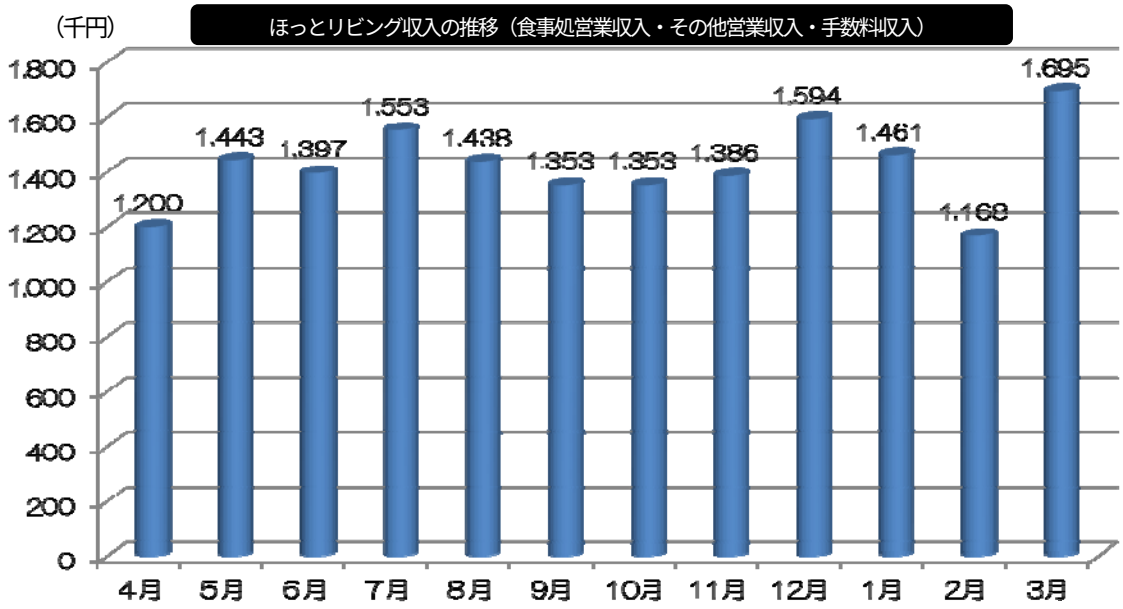
①市立病院ホスピタルローソン

オープン時より取り組んでいるポンタ会員数を増やす取組みの他、７月より挽きたて淹れ立てのコーヒーを提供するマチカフェを導入し、固定客の獲得に努めた。その他、恵方巻きやクリスマスケーキ等の季節商品や、母の日ギフトなどの店舗外営業にも力をいれた。１周年の際には、マチカフェ試飲会の他、購入者へのマチカフェチケットプレゼント等のイベントを実施した。



②食事処ほっとリビング

食の安全第一をモットーに、家庭料理の手作り感を大切にした「日替りヘルシーランチ」と「日替わり具だくさんスープ」の他、モーニングセット等を提供。外来者や病院職員等に広く支持され、売上を大きく伸ばした。また、本会の特性を生かした“プラス１サービス”として、タオル帽子講座や野菜についての講座などを開催した。



(22) 総合福祉センターの運営

①総合福祉センター利用状況

	２３年度	前年比(%)	２４年度	前年比(%)	２５年度	前年比(%)
会場使用料収入(円) ①	2, 234, 412	99. 5	1, 945, 530	87	2, 060, 817	105. 9
ﾍﾙｽﾄﾛﾝ利用収入(円) ②	1, 425, 000	103. 1	1, 512, 200	106. 1	1, 381, 400	91. 4
賃貸料収入(円)　③	2, 030, 413	107. 7	1, 180, 496	58. 1	5, 316, 142	450. 3
手数料収入(円)　④	328, 142	102. 6	329, 704	100. 4	305, 860	92. 8
利用収入計(円) (①+②+③+④)	6, 017, 967	103. 2	4, 967, 930	82. 5	9, 064, 219	182. 4

※平成２５年度は「小規模デイサービスふれあい処えいる」を追加したため大幅増額となった。

②絆けんこう教室

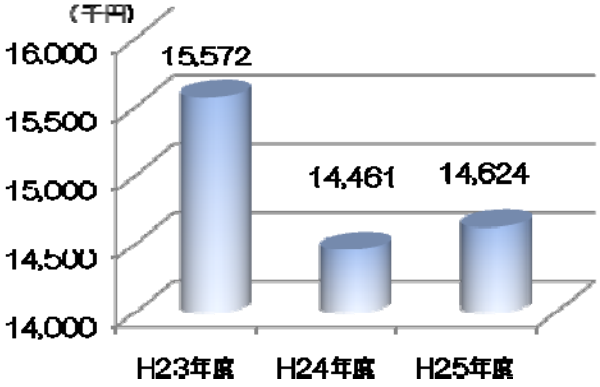
総合福祉センター利用者や近隣の地域住民を対象に、毎週月曜日、午前１１時から多目的ルームで「絆けんこう教室」を開催した。毎回、多彩な講師（ボランティア）を招いて「絆けんこう教室」を実施し、年間で延３４８人が参加した。

(23) 共同募金運動の取組み

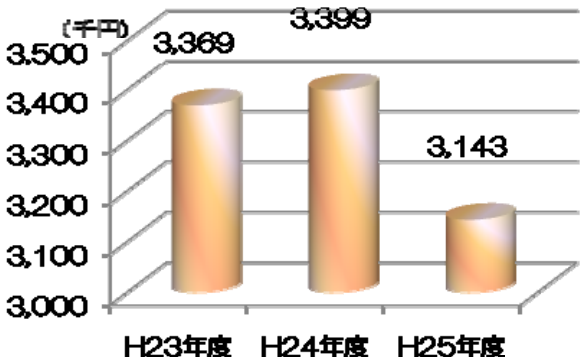
赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金運動について、福岡県共同募金会大牟田市支会と連携して取り組んだ。

①赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金実績

赤い羽根共同募金実績３ヵ年の推移



歳末たすけあい募金実績３ヵ年の推移



(単位：円)

	23 年度	前年比 (%)	24 年度	前年比 (%)	25 年度	前年比 (%)
赤い羽根共同募金	15, 572, 036	98. 4	1, 4461, 125	92. 9	14, 624, 240	101. 1
歳末たすけあい募金	3, 368, 966	91. 7	3, 399. 353	100. 9	3, 142, 692	92. 4

②寄付つき商品の企画･販売

年々減少していく募金実績を新しい角度から歯止めをかけようと、本年度から新しく「赤い羽根共同募金寄付つき商品」の企画・開発に『募金百貨店プロジェクト』として取り組んだ。１１月、「コーヒーサロンはら」での寄付つき商品の販売を皮切りに、１２月には移動商店街「よかもん商店街」加盟１８店との合同調印、１月には大牟田市中心地区商店街連絡協議会加盟１０店との合同調印を行うなど、２５年度末までに３３の企業と契約した。福岡県全体の寄付つき商品の契約企業は２５年度末で４５企業。大牟田市の３３という数字はその大半を占めるものとなった。

募金百貨店ロゴマーク

募金百貨店おおむた
パンフレット

③共同募金会大牟田市支会フェイスブックページの開設

寄付つき商品の開発にともない、フェイスブックページを開設した。寄付つき商品の紹介のほか、赤い羽根自販機の紹介、イベント情報の発信など、共同募金に関するさまざまな広報活動を行った。

④赤い羽根自販機の設置推進

自動販売機で飲料を購入すると、売上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付される「赤い羽根自販機」の増設に取り組んだ。本年度は電気化学工業株式会社大牟田工場の 28 台を含む３１台を増設。２５年度末の時点で市内１９カ所、４８台の設置台数となり、福岡県内の市町村で最多となった。

⑤法人募金

赤い羽根共同募金は、市内の事業所や学校を対象に計１６４カ所、歳末たすけあい募金は１１５か所で募金活動を行った。

さらに４校区については、新規募金協力先として校区の医療機関を訪問。２２か所から募金をいただいた。

⑥募金箱の設置

市内の事業所などを中心に募金箱の設置依頼を行い、 寄付つき商品の協力店には全て設置した。

⑦街頭募金

１０月１日の赤い羽根共同募金運動開始日、１２月１日の歳末たすけあい募金開始日に、市内の駅や商業施設において街頭キャンペーンを行った。また１０月から１２月にかけての運動期間中は、学校やボランティア団体による街頭募金が実施された。

⑧共同募金の広報

全戸配布の社協だより「きらり」にて、共同募金の特集を掲載した。また、１０月から１２月の運動期間中、事務局職員は全員法被を着用するなど、共同募金の周知啓発に努めた。

⑨イベントの開催と共同募金の啓発

９月、赤い羽根共同募金の普及、啓発を目的に、「第４回赤い羽根共同募金グラウンドゴルフ大会社協“絆”フェスティバル」を開催。市内 22 校区を対象に「赤い羽根共同募金杯校区対抗グラウンドゴルフ大会」を開催すると同時に、イベントスペースでは「赤い羽根ガラポンくじ」や「共同募金○×クイズ」などのほか、「ありがとうメッセージ」として、募金を受け取っている団体が直接感謝の気持ちを伝える場を作った。

また、幅広い年齢層への啓発に、若者を中心に人気の「初音ミク」のポスターや資材を導入。１１月にはイオンモールにおいて「初音ミクパネル展」を開催した。

⑩配分金使途の透明化

各団体からの助成申請を配分委員会で審査し配分すること、全世帯配布の社協だより「きらり」へ、集まった募金の使いみちを掲載すること、各報道機関へ情報提供を行うことなどにより、配分金使途の透明化を図った。２５年度共同募金配分委員会では、福祉団体等の配分申請に基づき、１４の学校、１３の福祉団体等へ２６年度事業費として、総額３６０万４０９０円の配分が決定した。

（配分決定額）

団　体　名		事　業　名	配分交付額（案）
【福祉教育推進校】			
1	誠修高等学校	「ボランティアエステ」（ハンドセラピー）	３０，０００円
2	延命中学校	総合的な学習の時間「学びの旅」	３０，０００円
3	白光中学校	福祉教育推進事業	２４，０７０円
4	歴木中学校	福祉体験活動	２４，０００円
5	駛馬南小学校	福祉教育推進事業	２０，５００円
6	駛馬北小学校	福祉教育推進事業	４８，７７０円
7	大牟田小学校	地域の高齢者とともに	５，０００円
8	平原小学校	児童への福祉教育（高齢者との交流）	３５，０００円
9	羽山台小学校	高齢者・障害者との交流を通した福祉教育	３０，０００円
１０	三池小学校	福祉教育推進事業	３７，０００円
１１	吉野小学校	福祉教育推進事業	３３，０００円
１２	倉永小学校	高齢者・障害者交流、疑似体験	３５，０００円
１３	手鎌小学校	地域ボランティアの活性化	３６，０００円
１４	玉川小学校	「体験からの学び」を大切にする福祉教育の推進	５０，０００円
		（福祉教育推移事業　合計	４３８，３４０円）
【福祉団体及びＮＰＯ法人等】			
1	老人クラブ連合会	教養事業費	１５５，０００円
2	民生委員・児童委員協議会	各種研修事業費	４６５，０００円
3	身体障害者福祉連合会	社会参加促進事業	２５０，０００円
4	母子寡婦福祉会	母と子のふれあい事業	１００，０００円
5	サンアビ祭実行委員会	パラリン＆サンアビ祭り	１００，０００円
6	ボランティア連絡協議会	情報交換の場づくり	８０，０００円
7	大牟田朗読の会	朗読・情報発信に関する研修会	５０，０００円
8	要約筆記のぞみの会	難聴者の交流の場づくり	４５，０００円
9	大牟田むつき会	視力障害者のための点訳奉仕	４５，０００円
１０	おおむた手話の会ありあけ	「１日研修会」	４５，０００円
１１	心をつなぐ会	知的障害児・者の医療の充実と啓発	２４０，０００円
１２	倉永生活循環バス運営協議会	生活循環バス事業	１４８，０００円
１３	インスパイア（地域ボランティア推進チーム）	皆の出来る発掘プロジェクト～まちの課題からまちの未来へ～」	１３０，０００円
１４	大牟田市社会福祉協議会	大牟田市社協の行う地域福祉事業全般	１，３１２，７５０円
		（福祉団体等　　合計	３，１６５，７５０円）
総　合　計			３，６０４，０９０円

⑪第4回共同募金杯校区対抗グラウンドゴルフ大会＆社協“絆”フェスティバルの開催

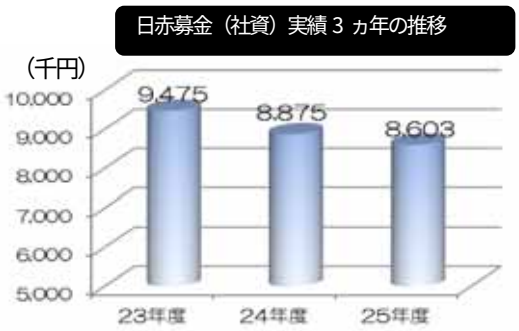
【日　時】平成２５年９月１４日（土）１０時００分～１５時００分
【会　場】諏訪公園　文化交流ゾーン イベント広場
【参加者】約2,000名
【後　援】大牟田市、大牟田市民生委員・児童委員協議会
【協　賛】コカコーラウエスト（株）、サントリービバレッジサービス（株）

赤い羽根共同募金運動の普及啓発及び地域住民の絆を深めることを目的に開催。
校区対抗グラウンドゴルフ大会、飲食コーナーやプレーパーク（子育てきらりフェスタ Vol.15）、フリーマーケット、共同募金○×クイズなど、様々なイベントを催した。

(24) 日本赤十字大牟田市地区業務の取組み

①日赤募金（一般社資）実績の推移

	２３年度	前年比（%）	２４年度	前年比（%）	２５年度	前年比（%）
日赤募金（一般社資）	9,249,787	101.5	8,629,984	93.2	8,358,489	96.9
日赤募金（法人社資）	225,000	81.2	245,000	108.9	245,000	100.0
計	9,474,787	100.9	8,874,984	93.7	8,603,489	96.9



②平成２５年度大牟田市の献血実績について

（単位：人）

区　　分	受付者	献血者	不　適
地域（校区22回　ライオンズクラブ３回　青年会議所２回）	2,580	1,989	591
職　域　別（29回）	1,621	1,350	271
学　域　別（７回）	609	485	124
街　頭（イオンモール大牟田　１１回）	982	798	184
合　　計	5,792	4,622	1,170

③献血啓発講演会等の開催

輸血用の血液の約３８％はがんの治療に使われており献血集めた血液の多くはがん患者にとって必要不可欠なものである。また化学療法を受けた多くのがん患者が、吐き気や脱毛などの身体的苦痛や精神的苦痛を抱えている。7 月の「愛の血液たすけあい月間」時に太刀洗町在住の末次由美氏を講師に招き、がん患者のおかれた状況の理解とともに献血啓発の講演会を開催した。また、末次氏が取組んでいるがん患者へ贈る手作りのタオル帽子の取り組みを大牟田に広げるためにタオル帽子製作講座を開催した。

月　日	講演会・講座	受講者数	講師	
7月17日(水)	講演会「乳がんから学んだ生きる力の大切さ」	30名	末次　由美	イオンホール
7月18日(木)	講座「タオル帽子を作ろう」	30名	末次　由美	総合福祉センター
12月8日(日)	講座「クリスマスまでに作るタオル帽子」	10名	社協職員	市立病院ほっとｽﾍﾟｰｽ
3月20日(木)	講座「タオル帽子ボランティア養成講座」	32名	布れんず クラブ	総合福祉センター

④火災等の被災者への対応

市内の住居の火災被災者に対して調査のうえに日本赤十字社救援物資（毛布等の災害見舞い品）を支給した。また被災により緊急に住居を必要とされる世帯には、市営住宅の紹介を行った。

（平成２５年度日赤救援物資配布件数）

	世帯数	世帯人数	布団	毛布	医薬品ｾｯﾄ	緊急ｾｯﾄ	ﾀｵﾙｾｯﾄ	備 考
全 焼	2	6	4	6	2	2	4	
半焼(水損により全焼扱)	1	2	1	2	1	1	2	
半 焼	1	2	0	0	0	0	0	辞 退
合 計	4	１０	5	8	3	3	6	

(25) 各種寄贈及び助成について

平成２５年８月、福岡県宅地建物取引業協会・県南支部様より福祉車両の寄贈を受けた。

(26) 東日本大震災復興支援についての取組み

①絆プロジェクト スタッフ派遣

派 遣 期 間	活 動 内 容
4月17日～4月20日	南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 平成25年度支援活動スケジュール等の確認 その他訪問先：Ｙｅｓ工房・のぞみ・風の里・平成の森・あがらいん 雄勝診療所
6月29日～6月30日	＊仙台：復興支援活動総括報告会
8月16日～8月19日	松島町：松島観光協会 南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 その他訪問先：Ｙｅｓ工房・のぞみ・風の里・平成の森・あがらいん 石巻市大須小学校仮設 福幸オリジナル商品製作進捗状況確認他
9月 4日～9月 6日	石巻市：雄勝診療所・あがらいん 南三陸町：慶明丸・神割崎ほか 星野民藝社の防災テーブル寄贈コーディネイトほか
10月 7日～10月 9日	＊「大牟田中学校被災地訪問研修」同行 南三陸町・気仙沼市・陸前高田市・石巻市
10月17日～10月19日	南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 竹灯籠プロジェクト概要説明 ＊「大牟田市吉野のお神輿寄贈」コーディネイトおよび視察同行 南三陸町・松島町
11月29日～11月30日	＊「おかえりなさい 竹灯籠プロジェクト」コーディネイト、下見 南三陸町歌津
12月21日～12月24日	＊「おかえりなさい 竹灯籠プロジェクト」コーディネイト、設置 南三陸町歌津
1月31日～ 2月 2日	＊「おかえりなさい 竹灯籠プロジェクト」コーディネイト、撤去 南三陸町歌津
2月17日～ 2月18日	南三陸町：すばらしい歌津をつくる協議会定例会 平成25年度支援活動総括報告
3月18日～ 3月19日	＊東京：広域避難者支援ミーティング全国大会

②絆プロジェクト 研修会およびイベント等

日　程	打合せ及び研修会内容
4月　4日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
4月　5日	復興支援活動報告・平和学習会（そよかぜ学童保育所）
6月　6日	復興支援活動報告・研修（筑後市社協新人職員）
6月10日	復興支援活動報告会（市民グループ）
6月14日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
7月　3日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
7月11日	復興支援活動報告・福祉学習会（誠修高校） 復興支援活動報告（共同募金・ボラサポサロン：博多区）
7月24日	復興支援活動報告会（おおむたコスモスの会）
7月30日	復興支援活動総括紙面座談会（福岡県共助社会づくりモデル事業総括：福岡市）
8月　6日	復興支援活動報告・平和学習会（勝立中学校）
8月　8日	復興支援活動報告・ふくし学習会（夏 ふれ愛子どもふくし塾）
8月24日	復興支援活動報告・平和学習会（手鎌学童保育所・大牟田学童保育所）
9月　7日	復興支援活動報告・防災学習会（駛馬地区公民館　チャレンジｄｅ防災）
9月　9日	お神輿寄付に関する事前説明・研修（吉野まちづくり委員会）
9月14日	復興支援活動報告・商品販売（絆フェスティバル）
9月19日	復興支援活動報告・福祉学習会（中友校区こども民生委員）
9月27日	被災地研修旅行に関する事前説明（大牟田中学校）
10月　2日	お神輿送り出しと広報（吉野まちづくり委員会） 被災地研修旅行に関する事前研修（大牟田中学校）
10月13日	復興支援活動報告・商品販売（全国小規模多機能型居住介護事業者連絡会九州ブロック大会）
10月19･20日	復興支援活動報告・商品販売（九州クリエイターズマーケット：筑後市）
10月24日	復興支援活動報告・研修（大牟田市公立小中学校退職校長会）
11月　6日	復興支援活動報告・研修（happy ボランティア講座）
11月 10日	復興支援活動報告・商品販売(福岡県GH協会あったかコンサート：福岡市)
11月16･17日	復興支援活動報告・商品販売(大牟田ガス展)（築町フェア）（vient コンサート）
11月29日	Ochacco（お茶っこ）　in　おおむた　プレオープン
12月 1日	復興支援活動報告・商品販売(手話の会40周年記念大会)
12月 2日	竹灯篭設置に関する事前説明・研修（三池光竹実行委員会）
12月　6日	福幸支援活動報告・支援啓発イベント打ち合わせ(福岡広域避難者支援市民ネットワーク)
12月18日	ochacco　in　おおむた①
1月10日	復興支援活動報告・研修（はやめ地区公民館）
1月19日	ochacco　in　おおむた②
1月21日	復興支援活動報告・研修（tomotomo カフェ）
1月22日	ochacco　in　おおむた③
2月　9日	復興支援活動報告・商品販売(地域福祉大会)　ochacco　in　おおむた④
2月19日	ochacco　in　おおむた⑤
2月26日	復興支援活動報告・研修(サロンひばりが丘)
2月27日	復興支援活動報告・研修(玉川校区民児協)
2月27日	復興支援活動報告・研修(大牟田市社会福祉協議会)

2月28日	復興支援活動報告・福祉学習会(大牟田中学校)
3月　8日	復興支援活動報告・研修(市政参画推進ネットワーク　プラネットおおむた公開講座)
3月　9日	復興支援活動報告・商品販売(Do for Japan)
3月11日	「3・11あの日を忘れない　映画上映会」
3月12日	ochacco　in　おおむた⑥
3月26日	ochacco　in　おおむた⑦
3月28日	復興支援活動報告・研修(大牟田市社会福祉協議会)

③絆プロジェクト活動支援金状況(H26．3．31現在)

支援金総額：１，０４９，６００円（延５０件）

④絆プロジェクト福幸商品売上状況(H26．3．31現在)

売 上 総 額：２，８２７，４６０円

(27)福祉バス及びリフト付きバスの運行

福祉団体等の福祉増進のため、各種大会や研修会等の参加に際して福祉バスを運行した。また、福祉行事のための荷物等を運般する軽トラックの貸出も実施した。

	２３年度		２４年度		２５年度	
	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数	利用回数	利用者数
福祉バス利用状況	77	1,851	98	3,331	77	2,808
軽トラック利用状況	6	－	6	－	3	－

(28)他都市よりの視察状況

月　　日	視察受入	研修内容
６月２６日	糸島市波多江校区社協	駛馬南校区社協活動について
６月２７日	柳川市豊原地区社協	天の原校区社協活動について
７月２６日	鞍手町自治公民館	小地域ネットワーク活動について
１１月　６日	宗像市自由が丘地区福祉会	天の原校区社協活動について
１１月　６日	佐賀市校区社協会長会	小地域ネットワーク活動について
１１月１３日	武雄市西川登地区協議会	校区社協活動について
１２月　４日	筑後市社協	社協活動概要について
１２月２６日	中間市社協	社協活動概要について
２月２６日	大野城市民児協役員	駛馬南校区社協活動について
３月　７日	久留米市金丸校区社協	駛馬南校区社協活動について
３月１０日	久留米市西国分校区社協	子ども民生委員の取組みについて
３月２７日	荒尾市社協	社協活動概要について